

スピーディで無駄のないものづくり

需要の変化を機敏にとらえ、設計から生産、そしてお客様に届くまでのサプライチェーンを迅速・効率的に連動させています。



- 山形カシオ
- 甲府カシオ
- カシオ電子工業
- カシオマイクロニクス

- 香港カシオ
- カシオ電子シンセン
- カシオ電子科技 (中山)

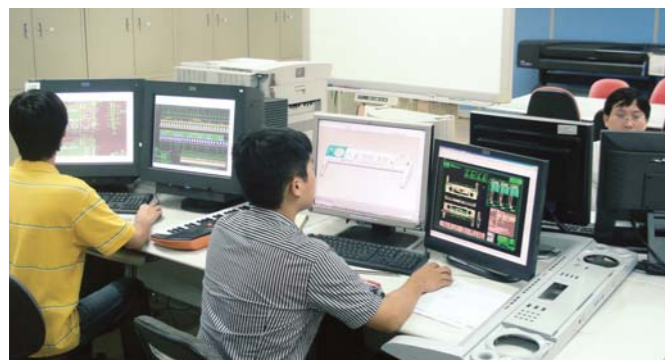
設計における効率化は、それ以降の製品をつくる工程すべてに効いてきます。そのため、使う材料や部品点数を少なく抑えられるよう、無駄を徹底的に排除しています。設計はすべて3D-CADで行い、設計データはオンラインで社内ネットワークを流れます。データは必要な部品のチェックや、製造用の金型の作成、マニュアル用の図版作成まで、あらゆる下流工程で活用されます。

市場動向の変化に合わせて、生産計画も日々変わります。無駄を出さないため、部品調達にも細心のコントロールが求められます。ITを駆使して本社・工場と結び、常に最新の計画に基づいて調達量を調整します。また取引先と公正で公平な関係を築くため、社会・環境問題を網羅した「資材調達方針」を定め、説明会やアンケート調査を通じて、協働してCSR調達に取り組んでいます。

主力工場は、日本、中国、タイにあります。技術力、市場への距離、部材調達のしやすさ、労働コストなど、それぞれの特性により使い分け、国際分業で「最適地生産」を行っています。どの製品に対しても生産できる拠点を2カ所確保することで、安定供給を実行しています。製品や事業における競争力を高めるため、独自の生産技術を磨き、部品の内製化の拡大も図っています。

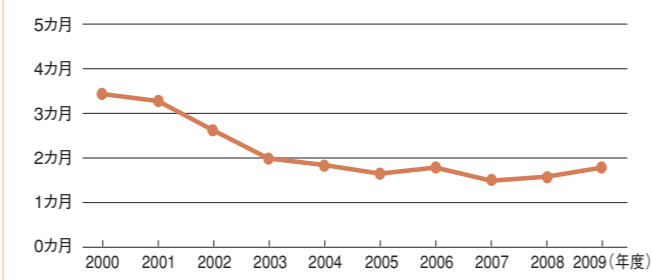
製品を効率的に、少しでも速く届ける工夫を重ねています。販売計画や時々の貨物事情に対応して、コスト・輸送時間の少ない最適な輸送手段を見つけ出します。物流拠点の統廃合や、各地の最短ルート地点への再配置も進めています。運ばれるコンテナの規格から、無駄なく積める最適な箱の大きさを計算。梱装箱を目標サイズに収め、物流CO₂とコストを下げています。

設計から調達・生産コントロールまでを行う多機能拠点



広東省のカシオ電子シンセンでは、従来担当していた生産工程に加えて、設計や部品調達、金型の製作、品質保証にまで担当機能を拡げました。現在では時計の5割以上の設計を手掛けています。最上流の設計から製品の出荷までを一括して行うことで、量産開始までのリードタイムを短縮しました。カシオ電子シンセンは、中国の他の拠点への生産割り振りなどのコントロールも行っています。

在庫回転月数の推移



在庫回転 月数は、安定して1か月台を維持。無駄な在庫を持たずに、市場が求める分だけの量を、すばやく柔軟に生産しています。

年間生産個数 **1億個以上**

カシオが送り出す製品は、周辺機器も含め年間1億個以上。多岐にわたる品目で、迅速にラインアップを切り替えながら、滞りなく生産を行っています。

最先端「タフムーブメント」自動組み立てライン



山形 カシオは、最先端の時計用ムーブメント「タフムーブメント」を生産するため、独自の「アナログブロック自動組み立てライン」を導入しました。リニアモーターによる5軸ロボットで、多種部品への対応や組み立ての高速化を実現。特に精度を要する針駆動用の微小歯車の組み込みには、画像センサーを搭載した組み立て装置を導入し、歯車の回転角度と位置合わせを自動で行っています。

デジタル仕分システムで欧州市場へ即日出荷



欧州市場への販売を統轄するドイツのカシオヨーロッパは、2009年に新拠点へ移行。欧州各国からの注文を受け、同市場向けの9割(英国を除く)の商品を出荷しています。17,000平方メートルの新倉庫は、カシオのハンディターミナルの活用や、デジタル仕分システムなどにより、ペーパーレス化と効率化を徹底。受注から出荷までのリードタイムを、6~7割のオーダーで24時間以内にするを目指しています。